

2021年8月4日

報道関係者各位

発行:アットホーム株式会社
分析:アットホームラボ株式会社

賃料動向

小規模オフィス(50坪以下)の募集賃料動向 - 2021年上期(1月~6月) -

東京

- 東京20エリアの小規模オフィス募集賃料(以下、賃料)は超小型・小型ともに小幅ながら下落。5~25坪(以下、超小型)は、13,175円/坪 前期比-1.8%
25~50坪(以下、小型)は、15,266円/坪 前期比-0.3%
- 超小型は、全20エリア中17エリアで同±5%以内と全体的に小幅な動きとなった。
- 小型は、「蒲田・大森・大井町」で前期比+12.0%となったものの、概ね同±7%以内の動きにとどまる。

< エリア別賃料トップ5 >

超小型

順位	(前期)	エリア	賃料/坪
1	(1)	銀座	18,268 円
2	(3)	原宿・表参道	16,455 円
3	(2)	渋谷	16,312 円
4	(4)	恵比寿・目黒・中目黒	15,869 円
5	(5)	新橋・虎ノ門	15,002 円

小型

順位	(前期)	エリア	賃料/坪
1	(3)	原宿・表参道	20,847 円
2	(2)	銀座	20,263 円
3	(1)	渋谷	19,961 円
4	(4)	新橋・虎ノ門	18,867 円
5	(5)	恵比寿・目黒・中目黒	17,423 円

その他主要エリア

- 超小型の賃料は、全5エリアで前期比±5%以内。大阪市・福岡市は過去最高値を更新。
- 小型は、全5エリアで前期比±1%以内とほぼ横ばいで推移。

FOCUS

コロナ禍以降、物件数は都心部で増加。一方、問合せ数は周辺で増加。

【調査概要】

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区 代表取締役社長:鶴森康史)の不動産情報ネットワークに登録・公開された小規模オフィス(50坪以下)の募集賃料について、アットホームラボ株式会社(東京都千代田区 代表取締役:庄司利浩)に調査・分析を委託し、アットホームが公表するものです。

【対象エリア】

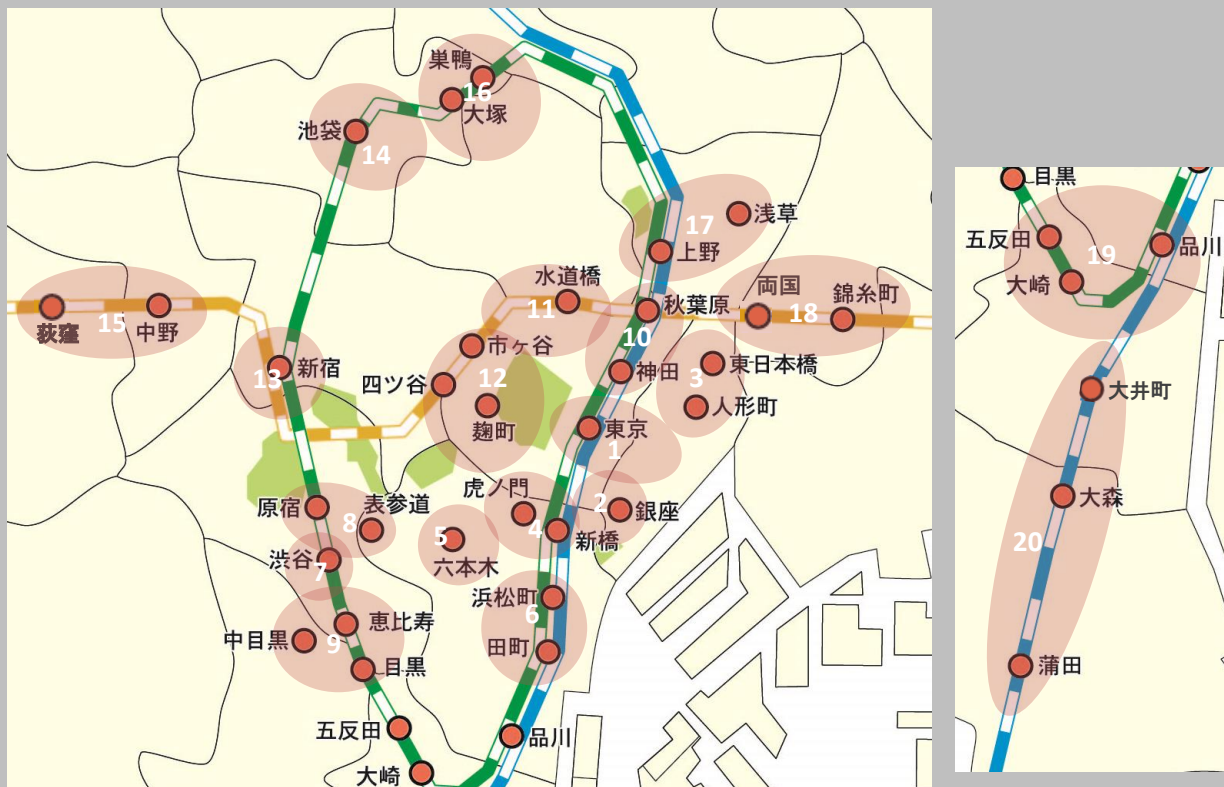
- ・ 東京都:20エリア (詳細はP2~3)
- ・ その他主要エリア:宮城県仙台市、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、福岡県福岡市 (詳細はP13)

【対象データ】

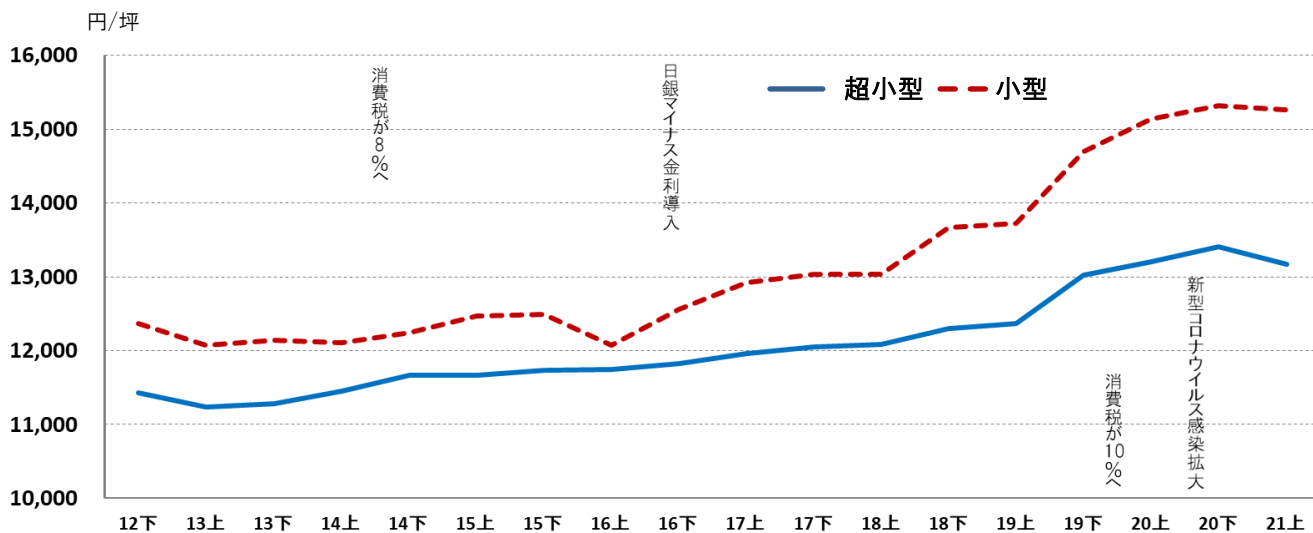
- ・ アットホーム不動産情報ネットワークに登録・公開された貸事務所(一棟貸、貸店舗は含まない)
- ・ 駅徒歩10分以内の物件
- ・ 上期=1月~6月、下期=7月~12月
- ・ 対象期間(6カ月間)内に同一棟で複数募集されている場合は最新の募集情報を採用
- ・ 賃料は共益費等込の坪単価(税抜)
- ・ 対象エリア毎の中央値を採用

本調査では募集面積に応じて 超小型 = 5坪以上~25坪未満、小型 = 25坪以上~50坪以下と定義しています。

東京エリアマップ



東京20エリアの賃料(坪単価)推移



POINT

東京20 エリアの賃料は、超小型が前期比-1.8% (-235円) の13,175円/坪、小型が前期比-0.3% (-49円) の15,266円/坪となった。

前期に両タイプ揃って過去最高値を更新したが、今期は超小型は13年上期、小型は16年上期以来の前期比マイナスに転じた。

	超小型	小型
21上	13,175 円	15,266 円
前期比	-1.8%	-0.3%
(20下)	(13,410円)	(15,315円)
前年比	-0.3%	+0.8%
(20上)	(13,209円)	(15,142円)

東京

募集賃料一覧(共益費等込の坪単価)

※矢印は前期からの変化率

↓ -10.0%以下

↘ -9.9%~-5.0%

→ -4.9%~4.9%

↗ 5.0%~9.9%

↑ 10.0%以上

No	エリア	超小型 (5~25坪)		小型 (25~50坪)	
		21上	前期比 (20下)	21上	前期比 (20下)
1	東京・日本橋・京橋	14,270 円	-1.6% (14,497円) →	16,000 円	+0.1% (15,991円) →
2	銀座	18,268 円	-9.6% (20,212円) ↘	20,263 円	+1.5% (19,966円) →
3	東日本橋・人形町	11,363 円	+2.4% (11,100円) →	13,276 円	-0.2% (13,302円) →
4	新橋・虎ノ門	15,002 円	-1.8% (15,272円) →	18,867 円	+5.0% (17,967円) ↗
5	六本木	13,767 円	-6.5% (14,726円) ↘	15,172 円	-6.9% (16,289円) ↘
6	浜松町・田町	13,975 円	+1.2% (13,815円) →	15,173 円	-7.0% (16,320円) ↘
7	渋谷	16,312 円	-3.9% (16,966円) →	19,961 円	-6.7% (21,400円) ↘
8	原宿・表参道	16,455 円	-1.1% (16,634円) →	20,847 円	+4.4% (19,965円) →
9	恵比寿・目黒・中目黒	15,869 円	+2.9% (15,417円) →	17,423 円	-0.5% (17,507円) →
10	神田・秋葉原	12,557 円	-2.5% (12,881円) →	15,221 円	-0.3% (15,272円) →
11	水道橋・御茶ノ水	12,447 円	-4.1% (12,976円) →	14,076 円	-1.4% (14,275円) →
12	市ヶ谷・四ツ谷・麹町	13,368 円	-3.6% (13,863円) →	16,272 円	+1.9% (15,968円) →
13	新宿	13,381 円	-3.0% (13,789円) →	16,820 円	+5.7% (15,916円) ↗
14	池袋	12,439 円	+0.7% (12,350円) →	14,871 円	-2.6% (15,271円) →
15	中野・荻窪	10,563 円	-0.6% (10,632円) →	10,268 円	+1.4% (10,125円) →
16	大塚・巣鴨	9,805 円	+2.8% (9,541円) →	10,815 円	0.0% (10,815円) →
17	上野・浅草	10,571 円	-4.6% (11,081円) →	11,206 円	+0.2% (11,182円) →
18	両国・錦糸町	9,506 円	+2.8% (9,243円) →	9,391 円	-1.4% (9,528円) →
19	品川・大崎・五反田	12,726 円	-1.9% (12,977円) →	14,499 円	+0.7% (14,397円) →
20	蒲田・大森・大井町	10,729 円	+5.9% (10,136円) ↗	11,744 円	+12.0% (10,488円) ↑

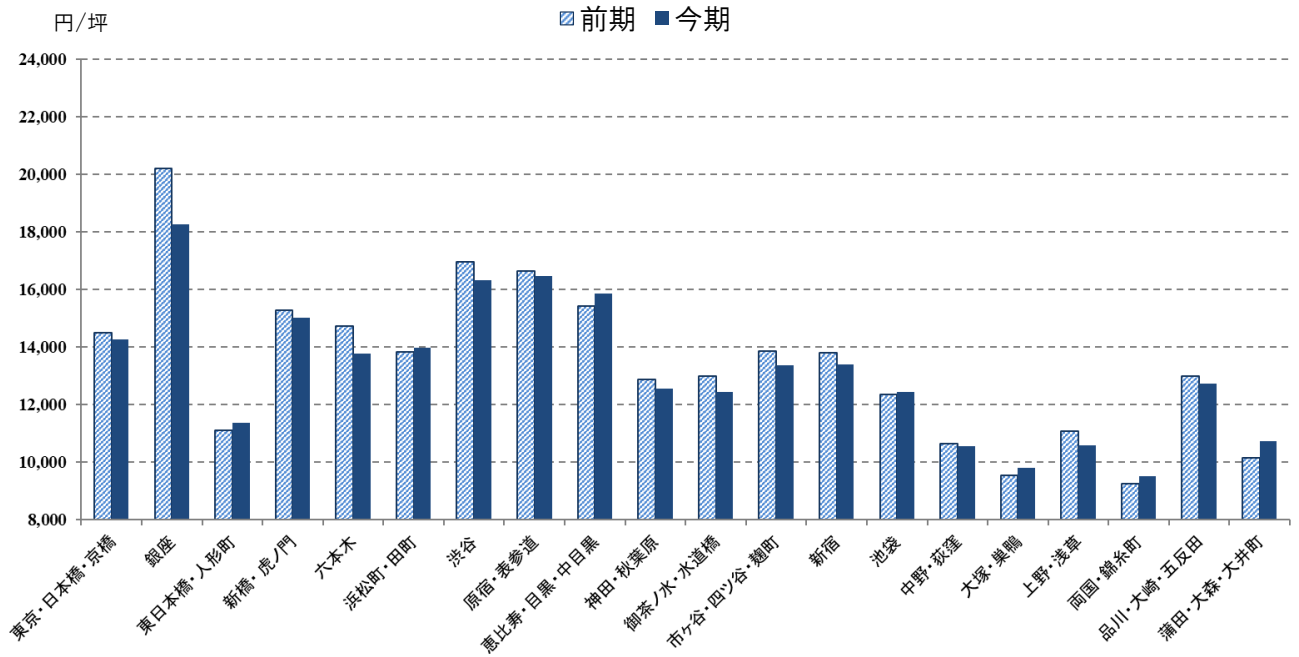
超小型(5~25坪) エリア別比較

POINT

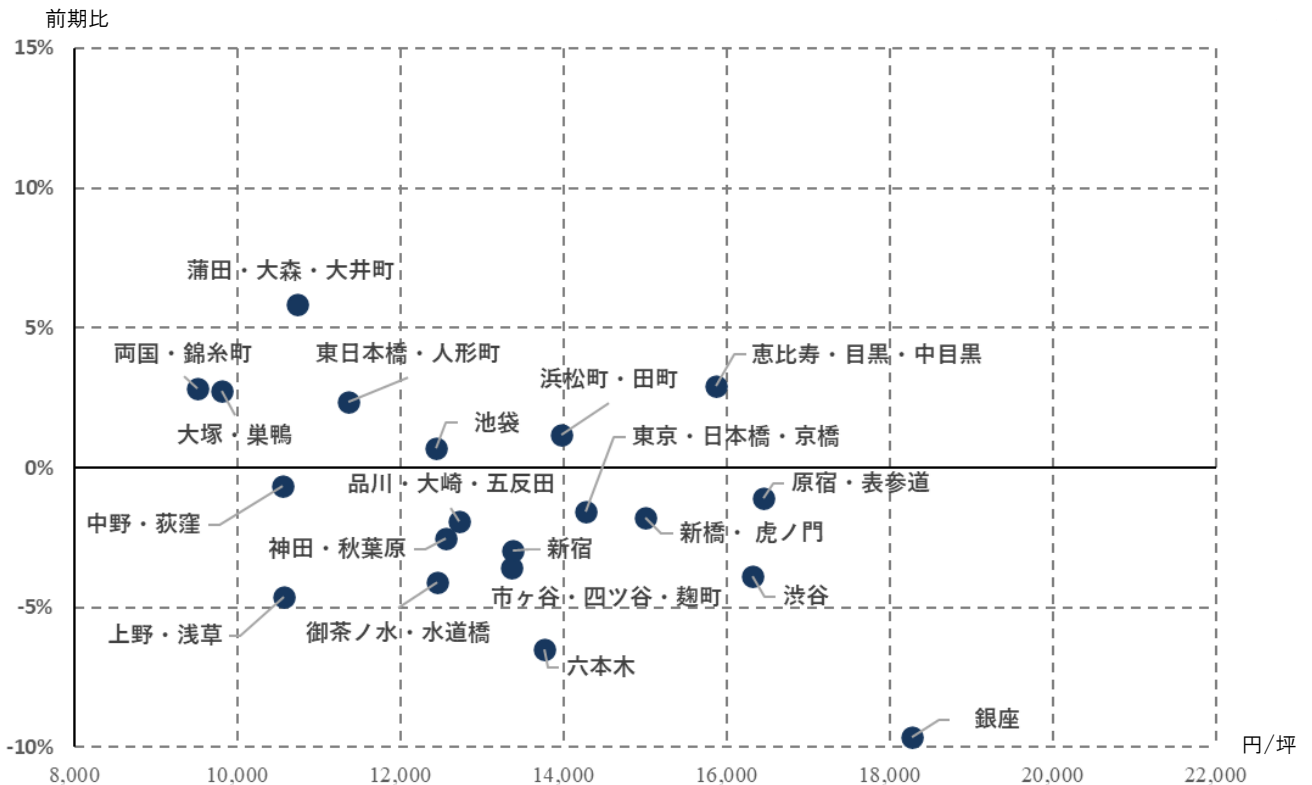
超小型の賃料は、13エリアで前期比マイナスとなったが、17エリアで前期比±5%以内と全体的に小幅な動きにとどまっている。(図表2)

その中でも「銀座」は前期比-9.6%と最も大きな下落となった。

図表1 エリア別 賃料



図表2 エリア別 賃料と前期比



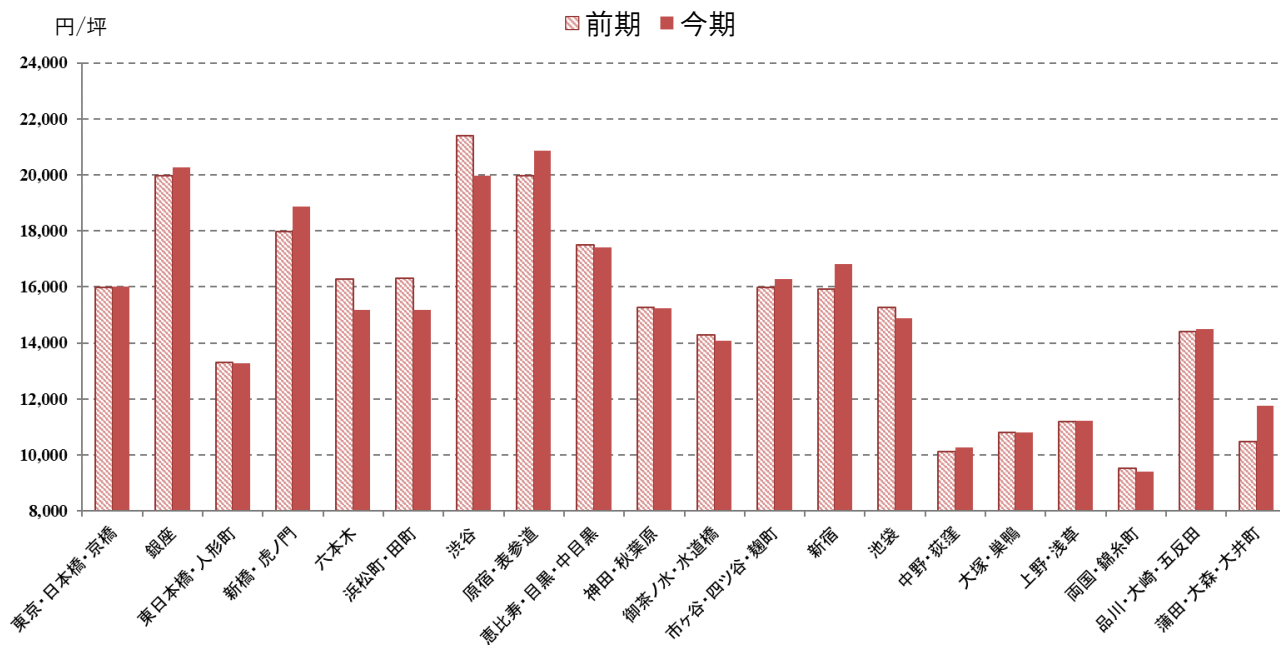
小型(25~50坪) エリア別比較

POINT

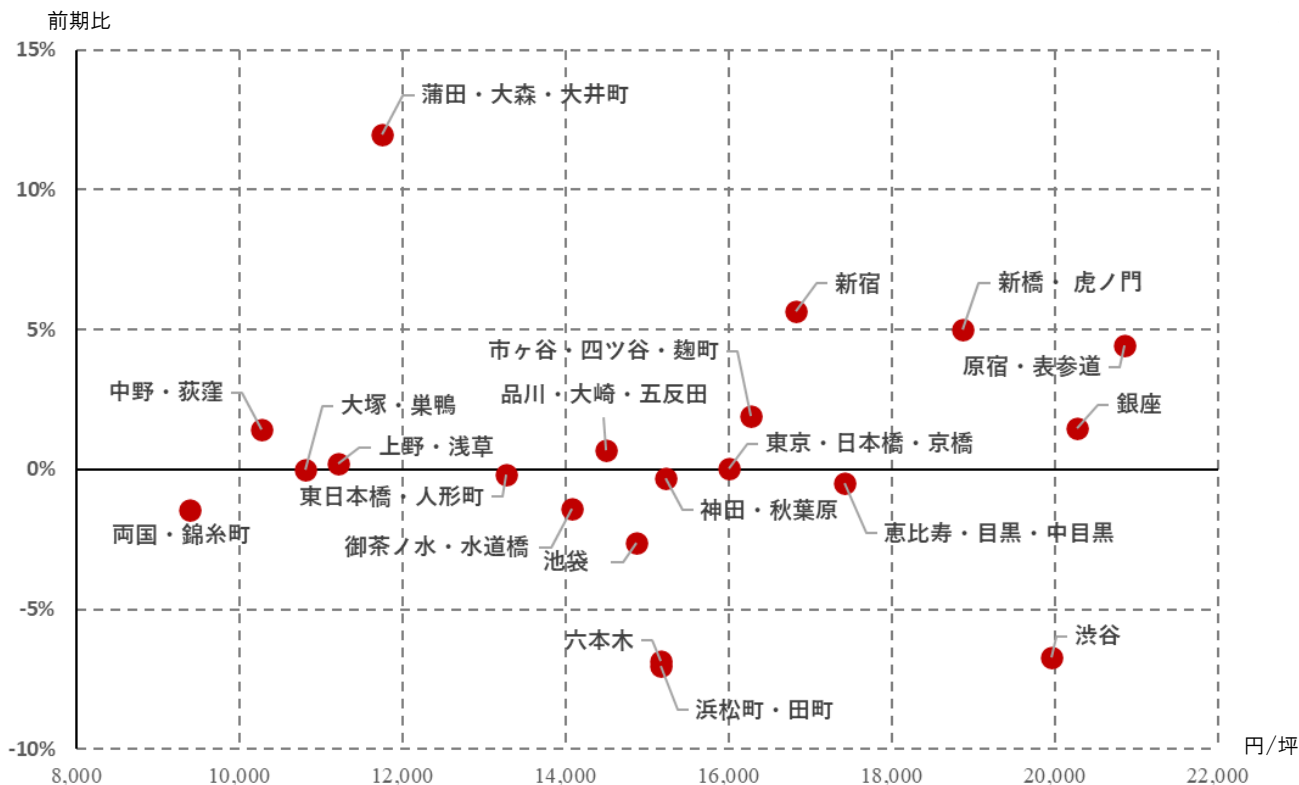
小型の賃料は、15エリアで前期比±5%以内と、超小型の17エリアよりは動きはあるものの、全体的に小幅な動きにとどまっている。(図表4)

その中でも「蒲田・大森・大井町」は同+12.0%と20エリア中最も大きな上昇率となった。

図表3 エリア別 賃料



図表4 エリア別 賃料と前期比



「東京・日本橋・京橋」「銀座」「東日本橋・人形町」



POINT

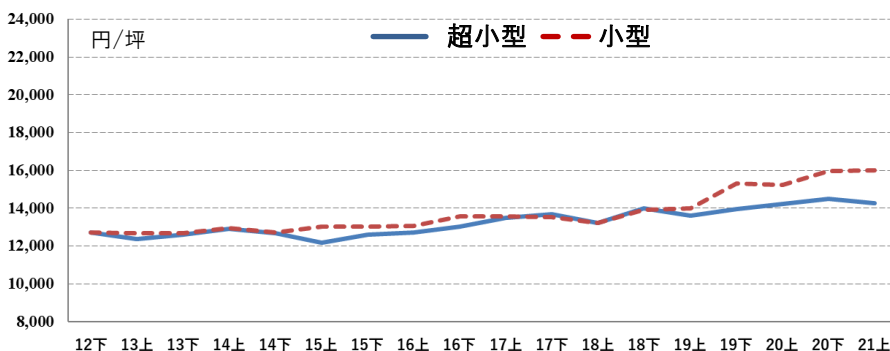
「銀座」の超小型は、前期は築浅物件の募集が増えた影響から+8.6%と大きく上昇していたが、今期はそれらの募集が少なく、前期比 -9.6%と20エリア中最大の下落となった。

新築募集物件※

- ◆ サクセス銀座東 12階建
築地1丁目
- ◆ 神田ニチエイビル 6階建
東神田1丁目
- ◆ LDB Nihon-bashi 10階建
日本橋富沢町

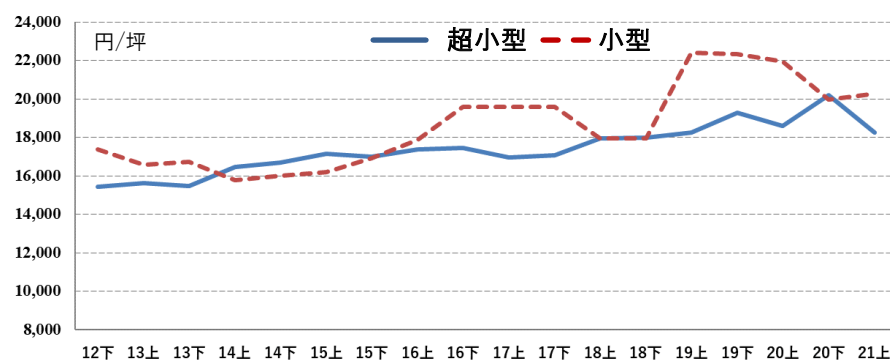
※今期募集された、築後1年以内の小規模オフィスの主な事例。次ページ以降同様。

1. 東京・日本橋・京橋



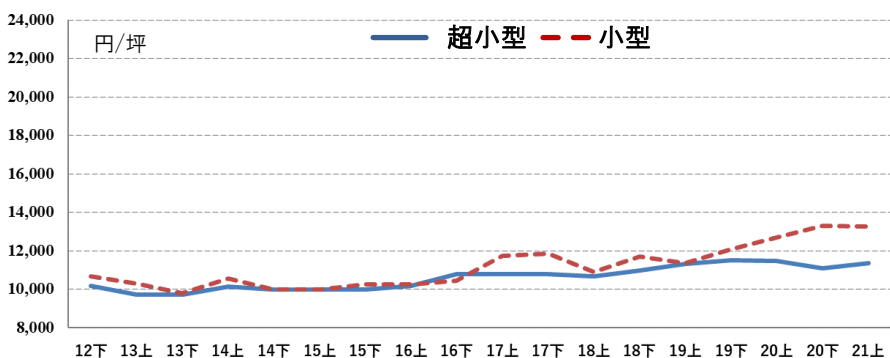
	超小型	小型
21上	14,270 円	16,000 円
前期比 (20下)	-1.6% (14,497円)	+0.1% (15,991円)
前年比 (20上)	+0.3% (14,222円)	+4.9% (15,254円)

2. 銀座



	超小型	小型
21上	18,268 円	20,263 円
前期比 (20下)	-9.6% (20,212円)	+1.5% (19,966円)
前年比 (20上)	-1.8% (18,607円)	-7.7% (21,960円)

3. 東日本橋・人形町



	超小型	小型
21上	11,363 円	13,276 円
前期比 (20下)	+2.4% (11,100円)	-0.2% (13,302円)
前年比 (20上)	-1.0% (11,479円)	+4.5% (12,699円)

「新橋・虎ノ門」「六本木」「浜松町・田町」



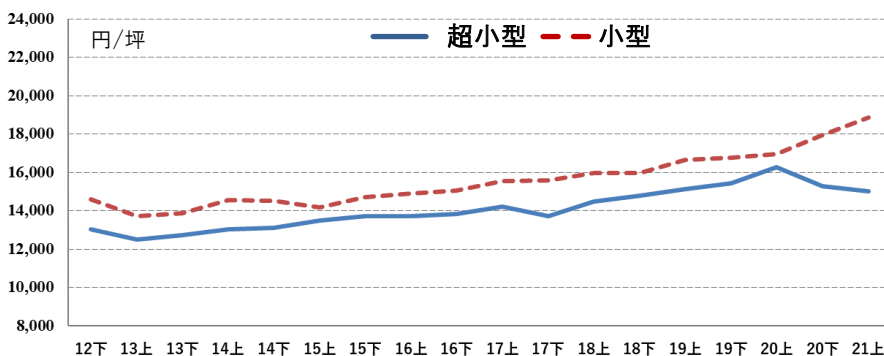
POINT

- ▶ 「新橋・虎ノ門」は小型で前期比+5.0%、前年比+11.2%と前期に続き最高値を更新。
- ▶ 「六本木」は両タイプともに前期比マイナス。特に小型では、2期連続で-5.0%超となり、前年比も-15.4%とこの1年で大きく下落。

新築募集物件

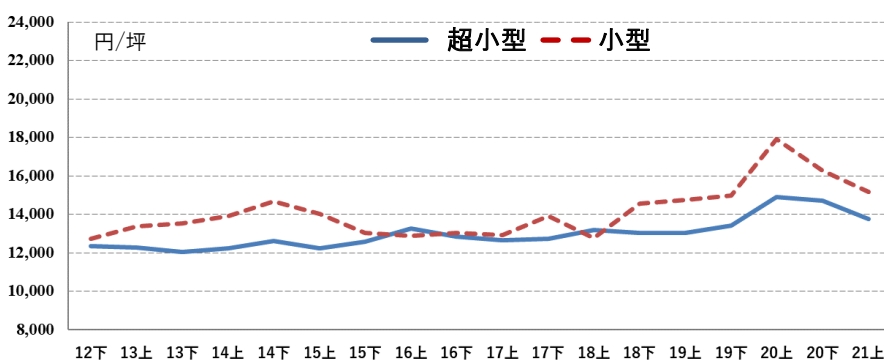
- ◆ AMANO芝公園 8階建
芝公園1丁目
- ◆ 第2喜久ビル 5階建
芝大門2丁目
- ◆ イヴェール芝大門 9階建
芝大門2丁目

4. 新橋・虎ノ門



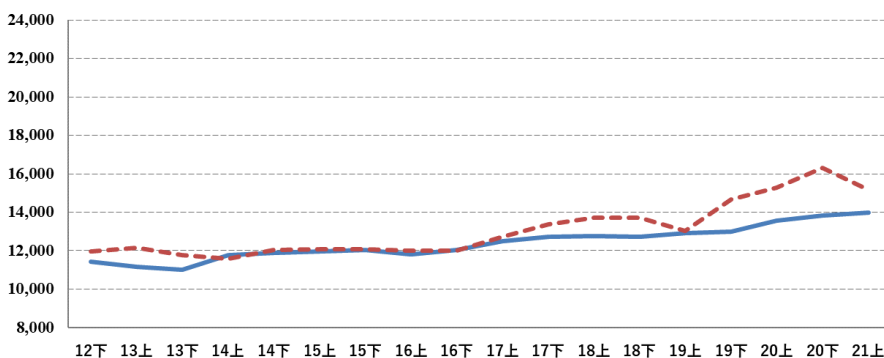
	超小型	小型
21上	15,002 円	18,867 円
前期比	-1.8%	+5.0%
(20下)	(15,272円)	(17,967円)
前年比	-7.8%	+11.2%
(20上)	(16,270円)	(16,970円)

5. 六本木



	超小型	小型
21上	13,767 円	15,172 円
前期比	-6.5%	-6.9%
(20下)	(14,726円)	(16,289円)
前年比	-7.6%	-15.4%
(20上)	(14,892円)	(17,928円)

6. 浜松町・田町



	超小型	小型
21上	13,975 円	15,173 円
前期比	+1.2%	-7.0%
(20下)	(13,815円)	(16,320円)
前年比	+3.2%	-0.7%
(20上)	(13,545円)	(15,275円)

「渋谷」「原宿・表参道」「恵比寿・目黒・中目黒」



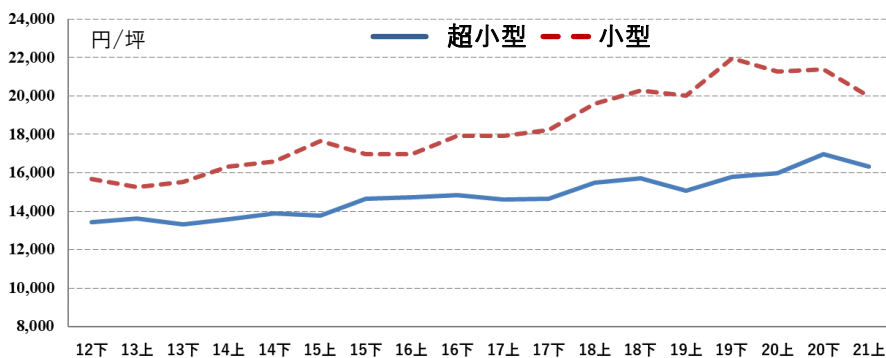
POINT

- ▶ 「渋谷」は両タイプとも前期比マイナス。特に小型は、グレードの高い物件の募集割合が減少した影響で前期比-6.7%と下落。
- ▶ 「原宿・表参道」の小型は、前期比+4.4%の20,847円/坪で、過去最高値となった。

新築募集物件

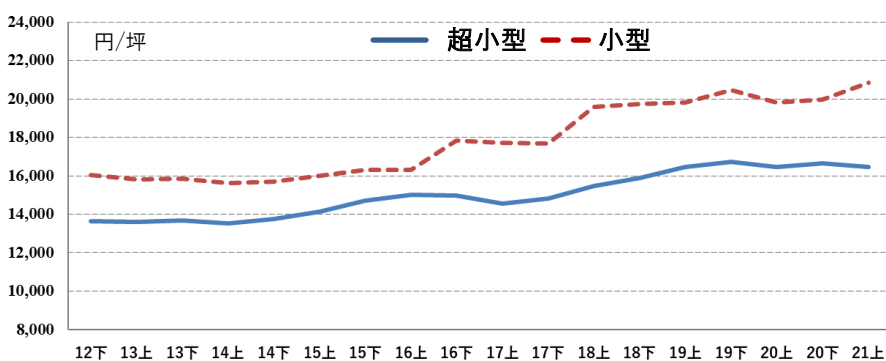
- ◆ ファイザーランド渋谷Ⅱ 6階建
宇田川町
- ◆ SJ EBISU 6階建
東3丁目
- ◆ ADEOT AOYAMA 5階建
神宮前5丁目

7. 渋谷



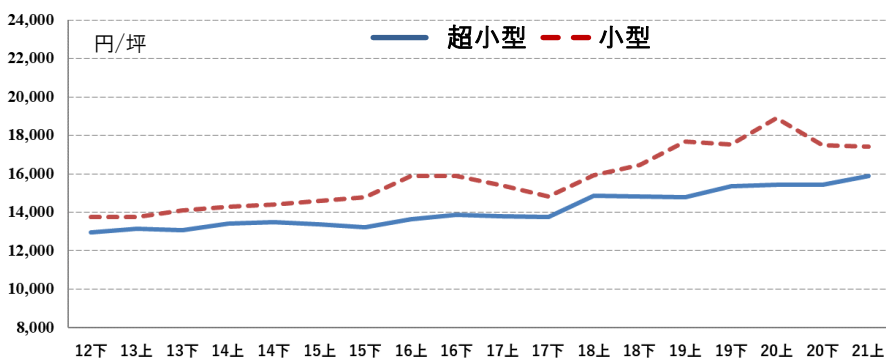
	超小型	小型
21上	16,312 円	19,961 円
前期比 (20下)	-3.9% (16,966円)	-6.7% (21,400円)
前年比 (20上)	+2.0% (15,993円)	-6.2% (21,279円)

8. 原宿・表参道



	超小型	小型
21上	16,455 円	20,847 円
前期比 (20下)	-1.1% (16,634円)	+4.4% (19,965円)
前年比 (20上)	0.0% (16,462円)	+5.1% (19,832円)

9. 恵比寿・目黒・中目黒



	超小型	小型
21上	15,869 円	17,423 円
前期比 (20下)	+2.9% (15,417円)	-0.5% (17,507円)
前年比 (20上)	+2.8% (15,441円)	-7.9% (18,909円)

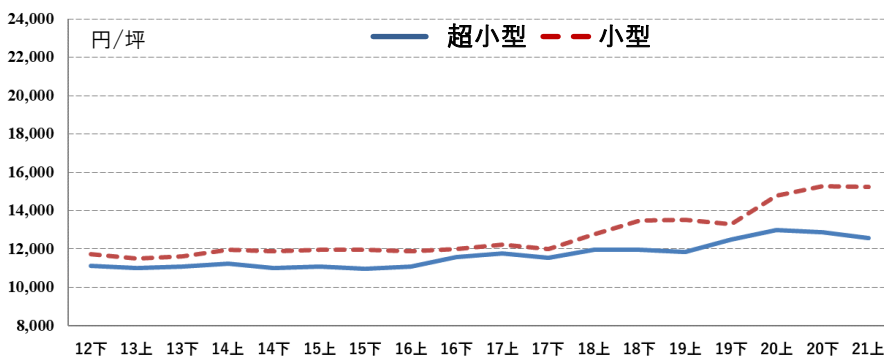
「神田・秋葉原」「水道橋・御茶ノ水」「市ヶ谷・四ツ谷・麴町」



- POINT**
- ▶ 「神田・秋葉原」と「水道橋・御茶ノ水」は両タイプで小幅ながら前期比マイナス。
 - ▶ 「市ヶ谷・四ツ谷・麴町」は超小型が前期比マイナスとなったが、小型は同+1.9%、前年比+8.7%と上昇傾向が継続。

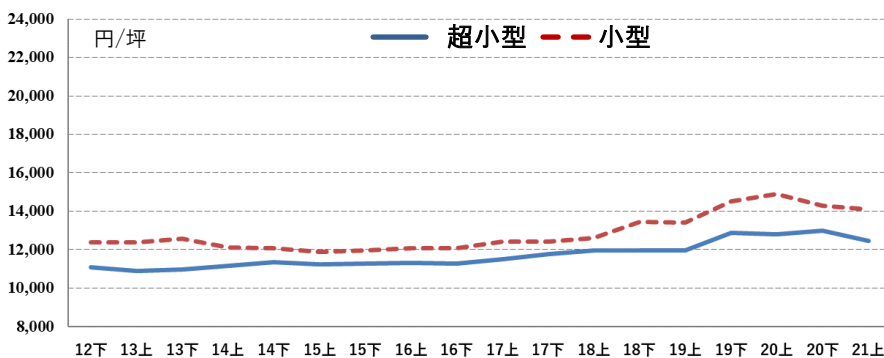
- 新築募集物件**
- ◆ RePlus内神田 12階建
内神田3丁目
 - ◆ VORT四谷 11階建
四谷2丁目
 - ◆ ESCALIER麴町 5階建
麴町6丁目

10. 神田・秋葉原



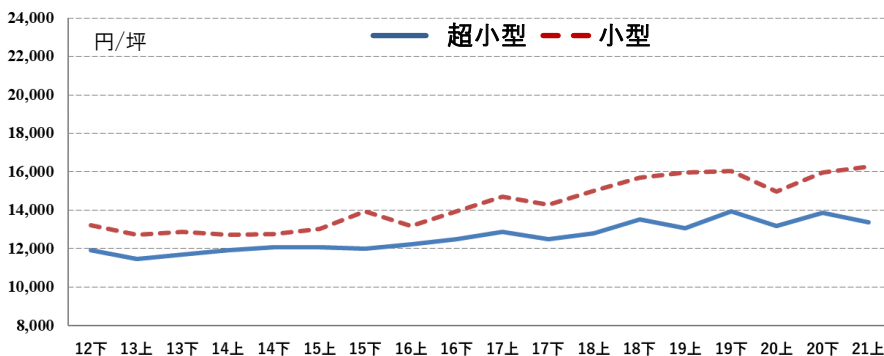
	超小型	小型
21上	12,557 円	15,221 円
前期比	-2.5%	-0.3%
(20下)	(12,881円)	(15,272円)
前年比	-3.2%	+2.9%
(20上)	(12,973円)	(14,799円)

11. 水道橋・御茶ノ水



	超小型	小型
21上	12,447 円	14,076 円
前期比	-4.1%	-1.4%
(20下)	(12,976円)	(14,275円)
前年比	-2.9%	-5.4%
(20上)	(12,815円)	(14,877円)

12. 市ヶ谷・四ツ谷・麴町



	超小型	小型
21上	13,368 円	16,272 円
前期比	-3.6%	+1.9%
(20下)	(13,863円)	(15,968円)
前年比	+1.6%	+8.7%
(20上)	(13,162円)	(14,974円)

「新宿」「池袋」「中野・荻窪」



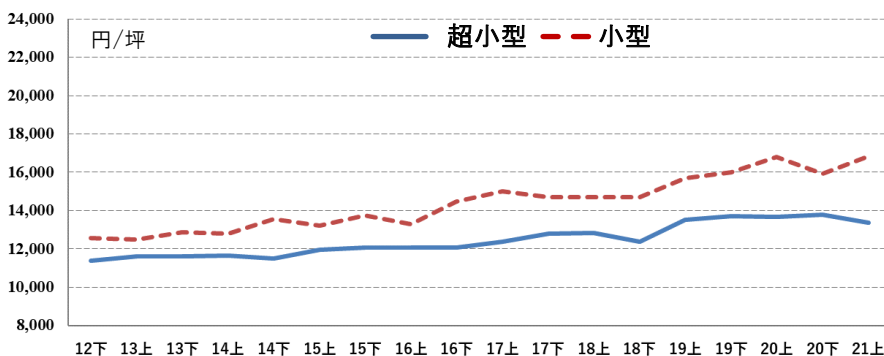
POINT

- ▶ 「新宿」の小型は前期比+5.7%の16,820円/坪。過去最高値となった。
- ▶ 「池袋」と「中野・荻窪」は両タイプともに前期比、前年比で±3.0%以内と小幅な動き。

新築募集物件

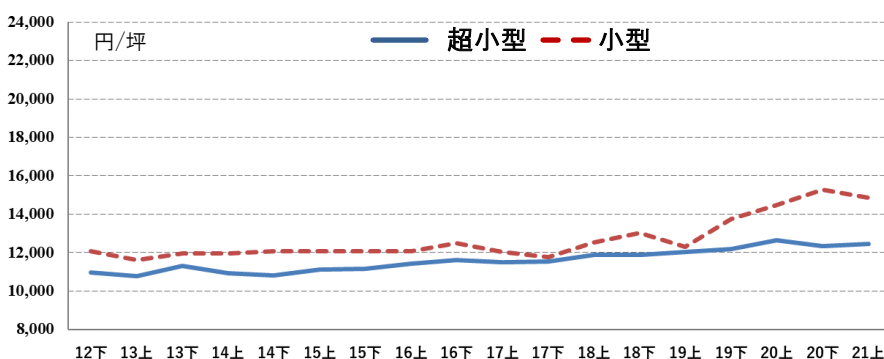
- ◆ AOI HOUSE Shinjuku 12階建
新宿2丁目
- ◆ 中野スクエア 4階建
新井1丁目
- ◆ ジャルーンナカノ 4階建
中野3丁目

13. 新宿



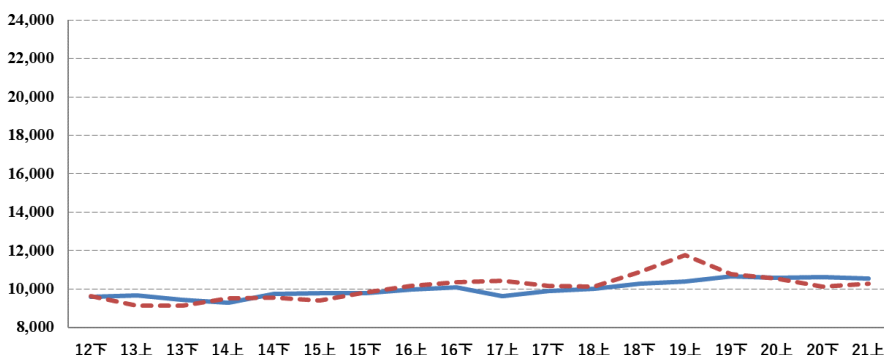
	超小型	小型
21上	13,381 円	16,820 円
前期比 (20下)	-3.0%	+5.7%
前年比 (20上)	-2.2%	0.0%
	(13,681円)	(16,818円)

14. 池袋



	超小型	小型
21上	12,439 円	14,871 円
前期比 (20下)	+0.7%	-2.6%
前年比 (20上)	-1.7%	+2.9%
	(12,649円)	(14,455円)

15. 中野・荻窪



	超小型	小型
21上	10,563 円	10,268 円
前期比 (20下)	-0.6%	+1.4%
前年比 (20上)	-0.1%	-2.5%
	(10,570円)	(10,535円)

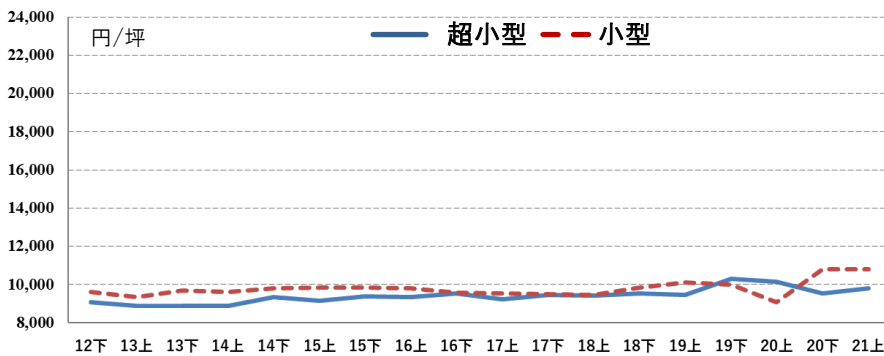
「大塚・巣鴨」「上野・浅草」「両国・錦糸町」



- POINT**
- ▶ 「大塚・巣鴨」の小型は、2012年下期以降最高値となった前期から0.0%と変わらず。
 - ▶ 「上野・浅草」「両国・錦糸町」は両タイプで前期比、前年比ともに±5.0%以内で推移。

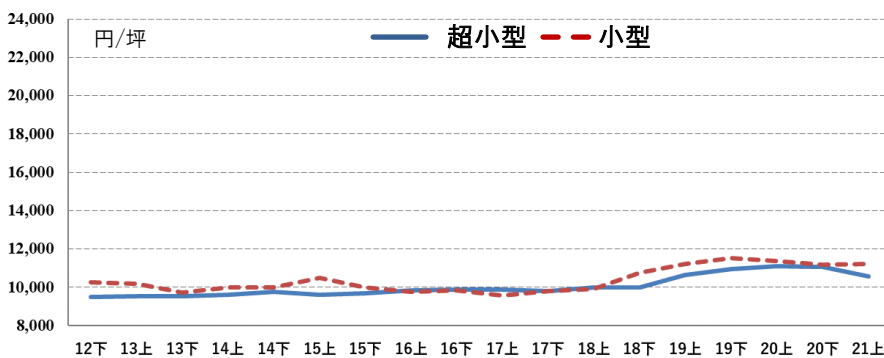
- 新築募集物件**
- ◆ BELL WOOD EAST 12階建 千田
 - ◆ (仮称)北区西ヶ原1丁目計画 11階建 西ヶ原1丁目

16. 大塚・巣鴨



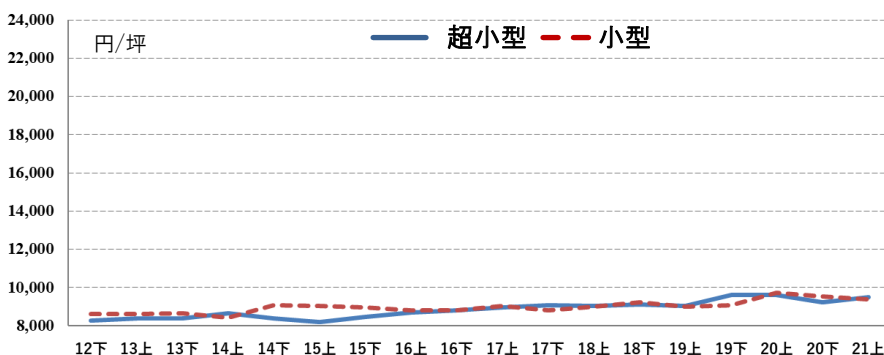
	超小型	小型
21上	9,805 円	10,815 円
前期比 (20下)	+2.8% (9,541円)	0.0% (10,815円)
前年比 (20上)	-3.2% (10,133円)	+19.1% (9,083円)

17. 上野・浅草



	超小型	小型
21上	10,571 円	11,206 円
前期比 (20下)	-4.6% (11,081円)	+0.2% (11,182円)
前年比 (20上)	-4.7% (11,090円)	-1.3% (11,356円)

18. 両国・錦糸町



	超小型	小型
21上	9,506 円	9,391 円
前期比 (20下)	+2.8% (9,243円)	-1.4% (9,528円)
前年比 (20上)	-1.2% (9,620円)	-3.3% (9,716円)

「品川・大崎・五反田」「蒲田・大森・大井町」



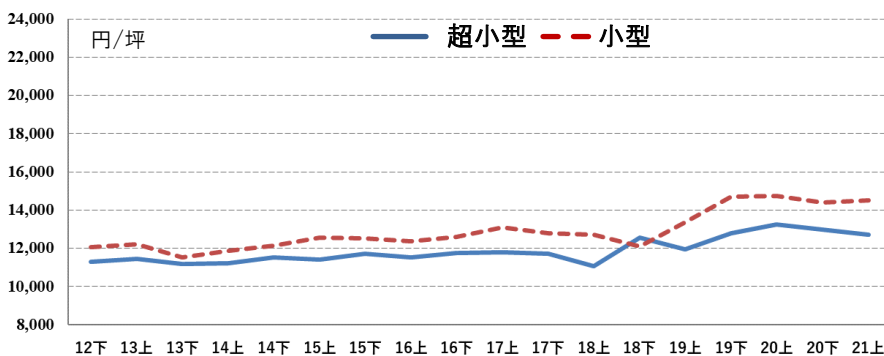
POINT

- ▶ 「品川・大崎・五反田」は両タイプともに前期比±2%未満と横ばい傾向が継続。
- ▶ 「蒲田・大森・大井町」は両タイプとも前期比+5%以上の上昇。特に小型は、前期の-13.9%から反発し、同+12.0%と東京20エリアで最も大きな上昇率となった。

新築募集物件

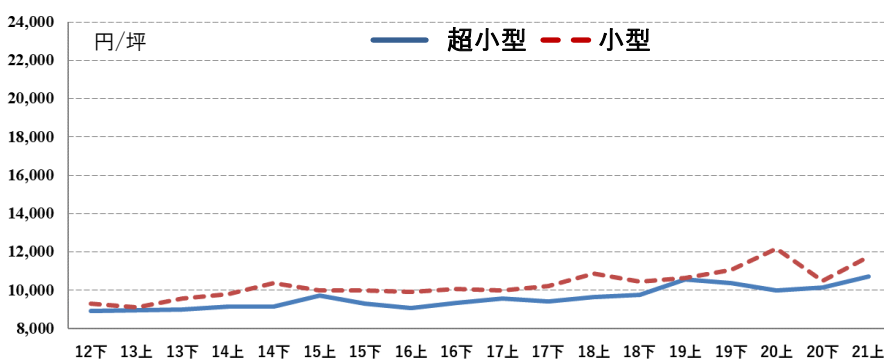
- ◆ ザ・シティ蒲田Ⅱ 9階建
西蒲田7丁目
- ◆ (仮称)品川区南大井6丁目計画 9階建
南大井6丁目

19. 品川・大崎・五反田



	超小型	小型
21上	12,726 円	14,499 円
前期比 (20下)	-1.9% (12,977円)	+0.7% (14,397円)
前年比 (20上)	-4.0% (13,252円)	-1.5% (14,725円)

20. 蒲田・大森・大井町



	超小型	小型
21上	10,729 円	11,744 円
前期比 (20下)	+5.9% (10,136円)	+12.0% (10,488円)
前年比 (20上)	+7.3% (10,000円)	-3.5% (12,176円)

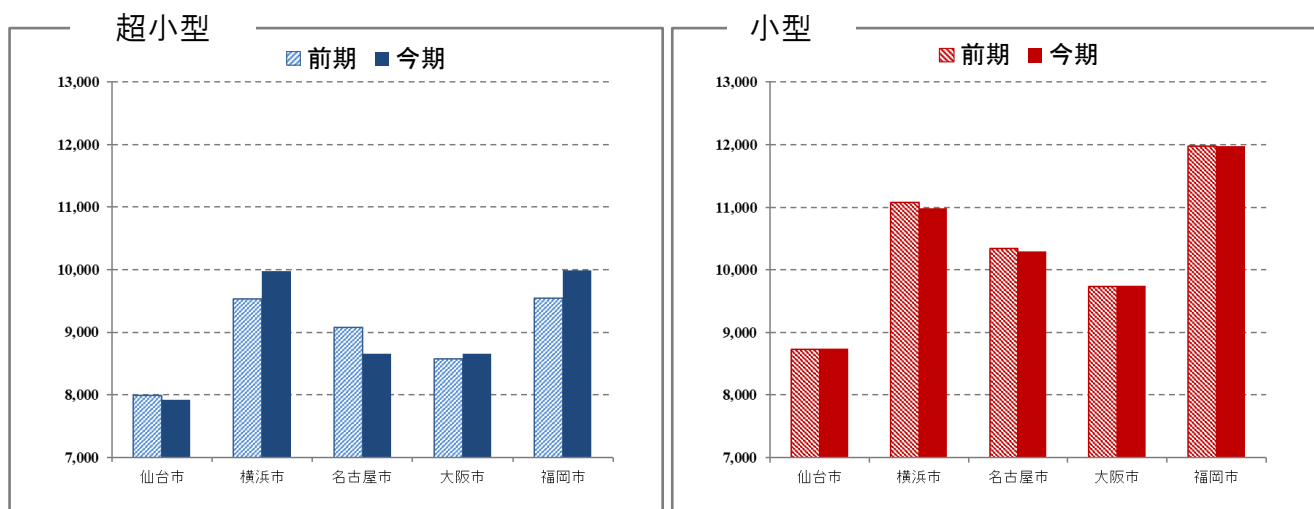
その他主要エリア 募集賃料一覧

※矢印は前期からの変化率

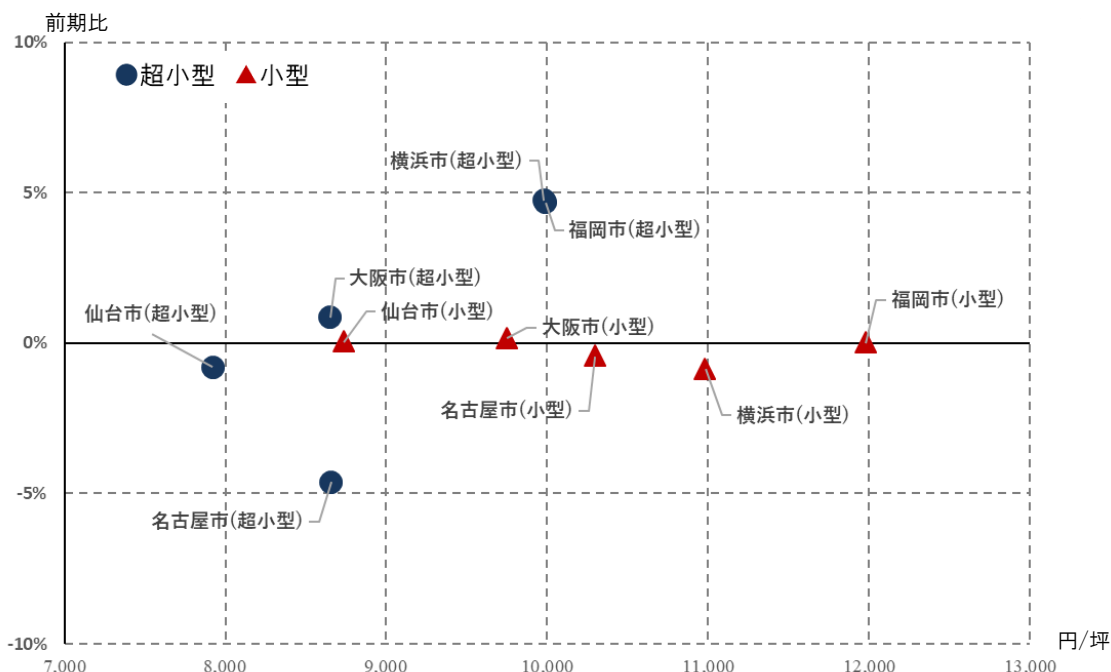
↓ -10.0%以下
 ↘ -9.9%~-5.0%
 → -4.9%~4.9%
 ↗ 5.0%~9.9%
 ↑ 10.0%以上

No	エリア	超小型 (5~25坪)			小型 (25~50坪)		
		21下	前期比 (20上)		21下	前期比 (20上)	
①	仙台市 (青葉区・宮城野区・若林区)	7,923 円	-0.8%	→	8,737 円	0.0%	→
②	横浜市 (中区・西区・神奈川区)	9,980 円	+4.8%	→	10,982 円	-0.9%	→
③	名古屋市 (中区・中村区・東区)	8,656 円	-4.6%	→	10,298 円	-0.4%	→
④	大阪市 (中央区・西区・北区)	8,651 円	+0.9%	→	9,749 円	+0.2%	→
⑤	福岡市 (博多区・中央区)	9,988 円	+4.7%	→	11,982 円	0.0%	→

エリア別 賃料



エリア別 賃料と前期比



POINT

【超小型】

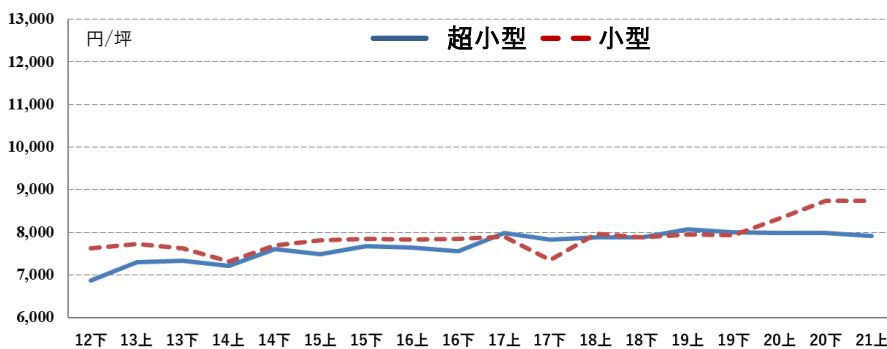
超小型の賃料は、小型より動きはあるものの、全5エリアで前期比±5%以内。大阪市・福岡市は過去最高値を更新。

【小型】

小型の賃料は、全5エリアで前期比±1%以内とほぼ横ばいで推移。

① 仙台市(青葉区・宮城野区・若林区)

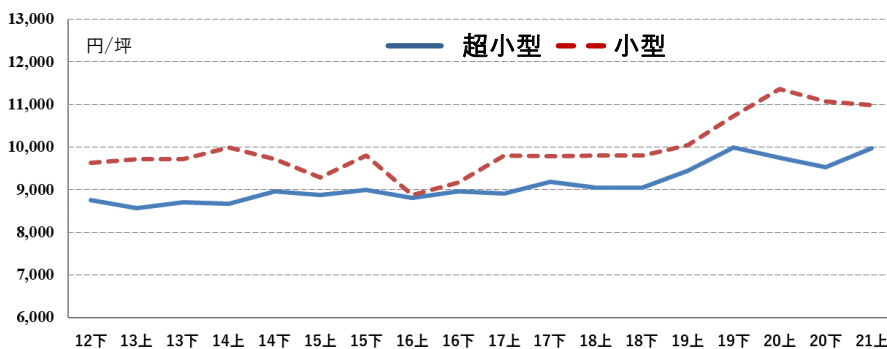
➤ 超小型、小型ともに前期比±1%以内と横ばいで推移。



	超小型	小型
21上	7,923 円	8,737 円
前期比	-0.8%	0.0%
(20下)	(7,986円)	(8,734円)
前年比	-0.7%	+4.9%
(20上)	(7,981円)	(8,328円)

② 横浜市(中区・西区・神奈川区)

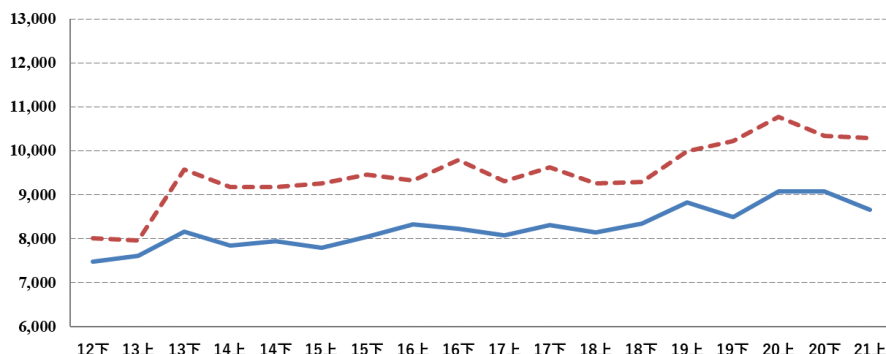
➤ 超小型で前期比+4.8%。その他主要エリアの中で最も上昇。



	超小型	小型
21上	9,980 円	10,982 円
前期比	+4.8%	-0.9%
(20下)	(9,527円)	(11,078円)
前年比	+2.4%	-3.4%
(20上)	(9,743円)	(11,365円)

③名古屋市(中区・中村区・東区)

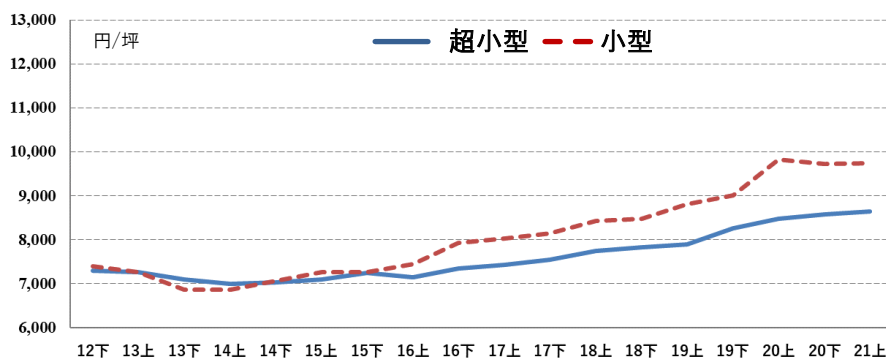
➤ 超小型、小型ともに前期比マイナス。特に、超小型は前期比-4.6%とその他主要エリアの中で最も下落。



	超小型	小型
21上	8,656 円	10,298 円
前期比 (20下)	-4.6% (9,075円)	-0.4% (10,344円)
前年比 (20上)	-4.6% (9,075円)	-4.5% (10,780円)

④大阪市(中央区・西区・北区)

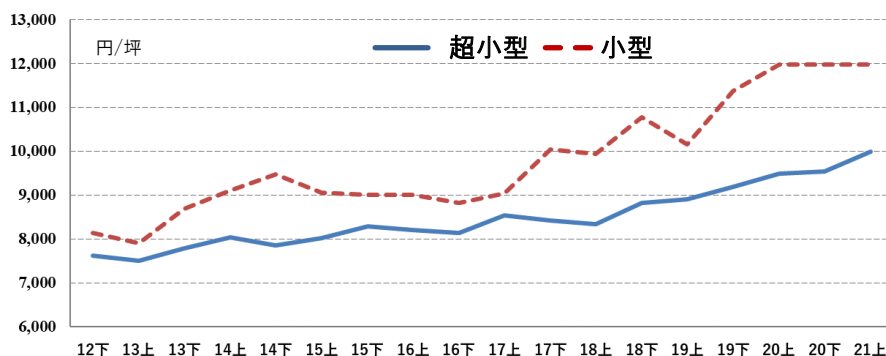
➤ 超小型、小型ともに前期比、前年比±2%以内と横ばい傾向が続く。超小型は過去最高値を更新。



	超小型	小型
21上	8,651 円	9,749 円
前期比 (20下)	+0.9% (8,577円)	+0.2% (9,734円)
前年比 (20上)	+2.0% (8,484円)	-0.9% (9,833円)

⑤福岡市(博多区・中央区)

➤ 超小型は同+4.7%と過去最高値を更新。小型は前期から横ばいで推移。



	超小型	小型
21上	9,988 円	11,982 円
前期比 (20下)	+4.7% (9,542円)	0.0% (11,982円)
前年比 (20上)	+5.2% (9,495円)	0.0% (11,981円)

～東京都における物件数・問合せ数の変化～

前期の本レポート(2021年2月19日公表)では、コロナ禍以降、2020年12月には募集物件が前年同月比140%に急増したという調査結果だったが、その傾向は今期も継続している。そこで今回は、不動産情報サイト アットホームに掲載された小規模オフィスの物件数・問合せ数について、2019年以降の変化を分析した。

<本FOCUSの集計対象>エリア：東京都全域、面積：5～50坪以下、期間：2019年以降の四半期毎

コロナ禍以降、都心5区の募集物件が大幅に増加

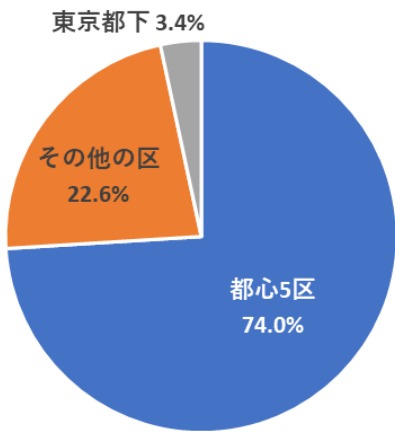
東京都を都心5区(千代田・中央・港・新宿・渋谷)、23区から都心5区を除いた18区(以下、その他の区)、東京都下の3つに分け募集物件数の割合を比較してみると、2021年2Q(注)は都心5区が74.0%と都内の募集物件の大半を占めていることがわかる(図表1)。

また、各地域における募集物件数の推移を見てみると(図表2、2019年1Q=100)、都心5区とその他の区で新型コロナウイルス感染拡大を機に増加している。特に都心5区の増加は顕著で、2021年2Qには133.5となった。

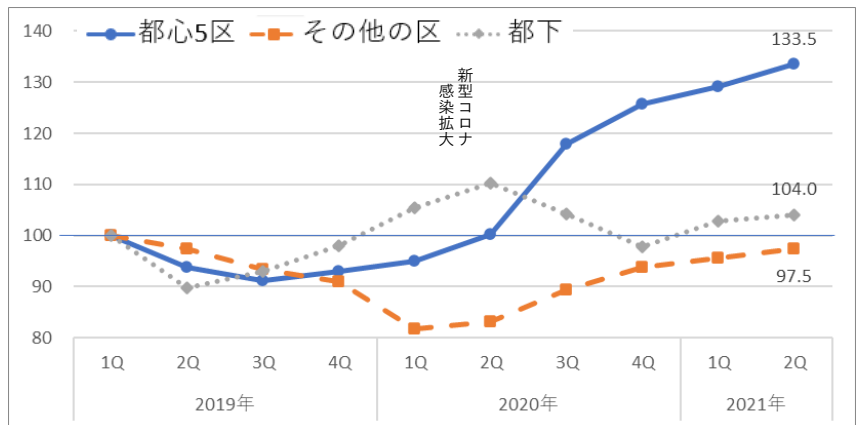
また、2019年1Q比の募集物件数割合を区ごとに見てみると(図表3)、都心5区では新宿・渋谷区が50%超、港区が25%超の増加。その他の区では50%超となった品川区・練馬区を除けば25%以下で、コロナ禍以降、オフィスの多いエリアでの退去が増えたことで募集物件が増加した様子が見える。

(注) 1Q=1月～3月 2Q=4月～6月 3Q=7月～9月 4Q=10月～12月

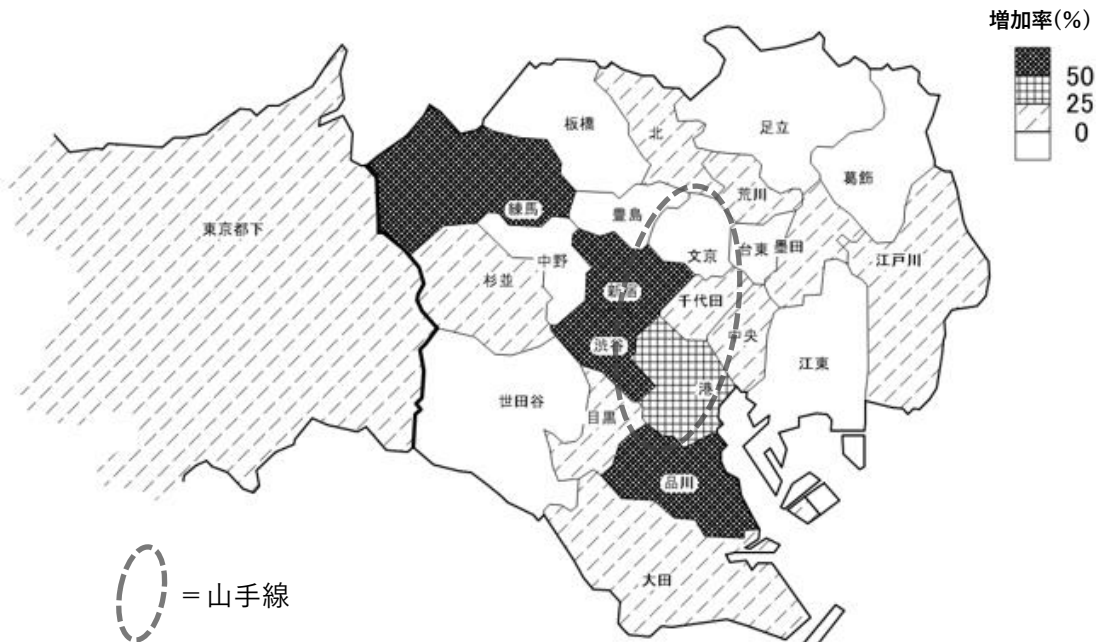
図表1：募集物件数割合 (2021年2Q)



図表2：募集物件数推移 (2019年1Q=100)



図表3：エリア別 募集物件数増加率 (2019年1Q⇒2021年2Q)



問合せ数は手ごろな賃料の山手線外側エリアで増加

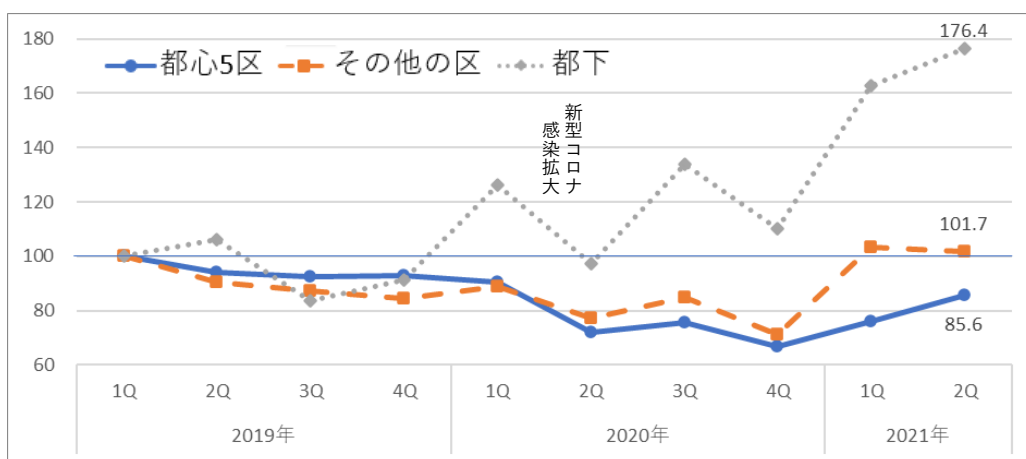
次に、不動産情報サイト アットホームで募集されているオフィス物件に対する問合せ(電話・メール等)の状況についても調査した(図表4、2019年1Q=100)。

2019年1Q比で、問合せ数が最も増加したのは東京都下で176.4、次いでその他の区で101.7。都心5区は物件数の増加率は最も高かったが(図表2)、問合せ数は85.6と2019年1Qを下回っている。

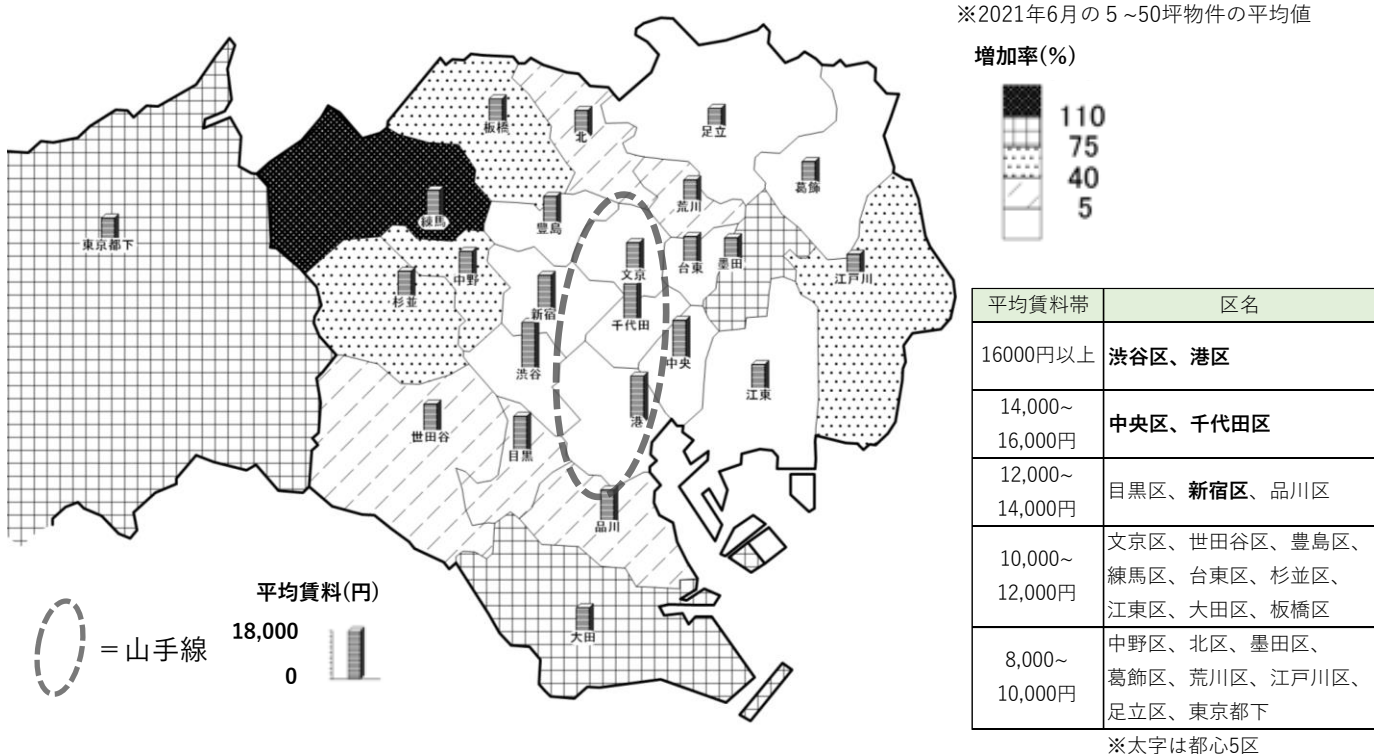
2019年1Qからの問合せ数増加率を地図上で見てみると(図表5)、問合せ数が最も増加したのは練馬区で110%超。次に墨田区、大田区、東京都下が75%超、板橋区・中野区・杉並区・江戸川区が40%超と続く。5%以下の伸びに留まった山手線の内側エリアと比べ、賃料水準が手ごろな山手線の外側エリアの方が問合せ数の伸びが大きいことが分かる。

新型コロナウイルス感染拡大以降、賃料の高い東京都心にオフィスを持つ必要性よりも、在宅勤務やサテライトオフィスなど、働き方の選択肢も増えたことで山手線の外側エリアといった都心周辺への関心の高まりが表れた結果となった。

図表4：問合せ数の推移（2019年1Q=100）



図表5：エリア別 問合せ数増加率・平均賃料※（2019年1Q⇒2021年2Q）



【アットホーム株式会社について】

■名称	アットホーム株式会社(At Home Co.,Ltd.)
■創業	1967年12月
■資本金	1億円
■従業員数	1,627名(2021年6月末現在)
■代表取締役社長	鶴森 康史
■本社所在地	東京都大田区西六郷4-34-12
■事業内容	1.不動産会社間情報流通サービス 2.消費者向け不動産情報サービス 3.不動産業務支援サービス
■会社案内	https://athome-inc.jp/

【アットホームラボ株式会社について】

■名称	アットホームラボ株式会社(At Home Lab Co.,Ltd.)
■創業	2019年5月
■資本金	3,000万円
■従業員数	10名(2021年6月末現在)
■代表取締役	庄司 利浩
■所在地	東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル4F
■事業内容	1.人工知能領域に関する研究、開発、販売、管理 2.コンピューターシステム、ソフトウェア、およびサービスの企画、開発、販売 3.不動産市場動向の調査、分析 4.不動産に関する新たな広告および取引手法などの調査、研究
■会社案内	https://www.athomelab.co.jp

◆引用・転載時のクレジット記載のお願い◆

本リリース内容の転載にあたりましては、「アットホーム調べ」という表記をお使いいただきますようお願い申し上げます。

【本リリースに関するお問合せ先】

アットホーム株式会社 PR事務局 ビルコム株式会社 担当:吉武
TEL:03-5413-2411 E-mail:athome@bil.jp

アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当:佐々木・西嶋
TEL:03-3580-7504 E-mail:contact@athome.co.jp

【調査内容に関するお問合せ先】

アットホームラボ株式会社 データマーケティング部 担当:津本・磐前(いわさき)
TEL:03-6479-0540 E-mail:daihyo@athomelab.co.jp

この調査はアットホーム株式会社がアットホームラボ株式会社に分析を委託したものです。アットホーム(株)およびアットホームラボ(株)は本資料に掲載された情報について、その正確性、有用性等を保証するものではなく、利用者が損害を被った場合も一切責任を負いません。また、事前に通知をすることなく本資料の更新、追加、変更、削除、もしくは改廃等を行うことがあります。